

XH110G クイックガイド【日本語】

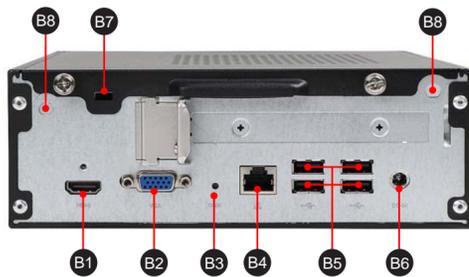
62RQXH1100-5201 XH110G
English, Spanish, Russian,
Traditional Chinese, Japanese,
French, German Quick Guide

正面パネル



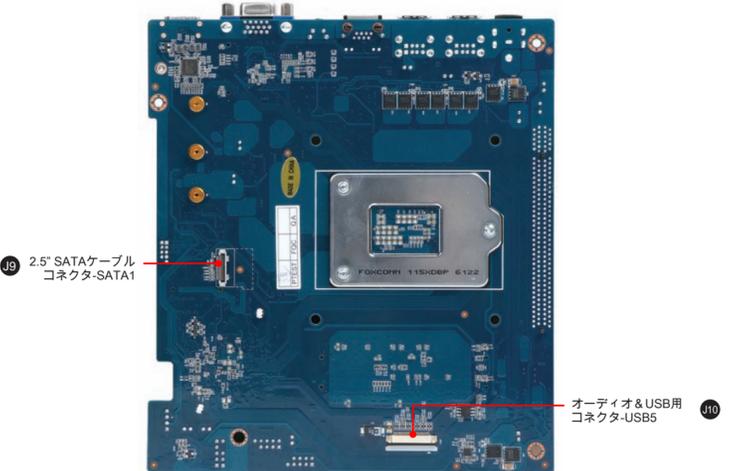
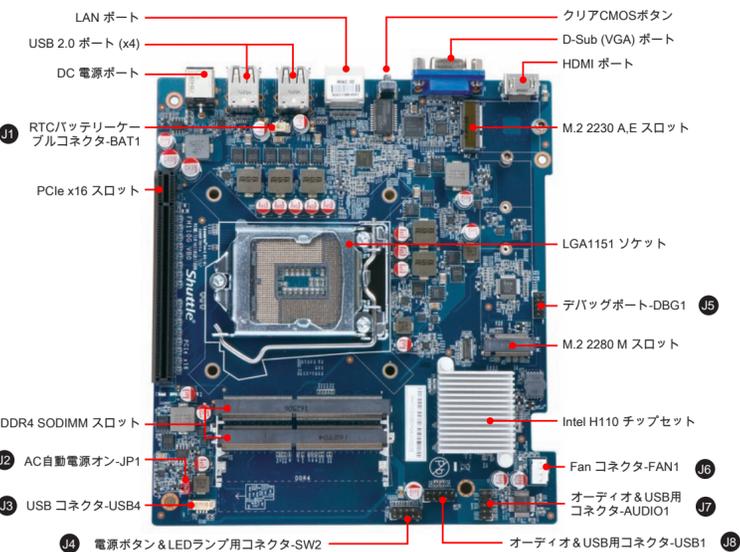
- F1. USB 3.0 ポート
- F2. USB 2.0 ポート
- F3. マイク
- F4. イヤホン
- F5. 電源スイッチ / 電源LED
- F6. HDD LED

背面パネル



- B1. HDMI ポート
- B2. D-Sub (VGA) ポート
- B3. クリアCMOSボタン
- B4. LAN ポート
- B5. USB 2.0 ポート
- B6. DC 電源ポート
- B7. ケンジントンロック用ホール
- B8. ワイヤレスLANキット追加用 (オプション)

メインボード図



ジャンパー設定

J1 RTCバッテリーケーブルコネクタ

- 1=BATPWR
- 2=GND



J2 AC自動電源オン

- 1=OP(+)
- 2=GND



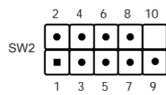
J3 USB コネクタ

- 1=GND
- 2=USB2_D+
- 3=USB2_D-
- 4=+5VS



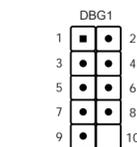
J4 電源ボタン&LEDランプ用コネクタ

- 1=SATA_LED_+3.3V
- 2=SYS_LED_+3.3V
- 3=SATA_LED
- 4=GND
- 5=RST_nBTN
- 6=PWRSW-
- 7=GND
- 8=GND
- 9=NC
- 10=N/A



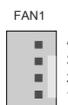
J5 デバッグポート

- 1=CLK_DBG_24M
- 2=LAD1
- 3=SIORST-
- 4=LAD0
- 5=LFRAME-
- 6=+3.3V
- 7=LAD3
- 8=GND
- 9=LAD2
- 10=N/A



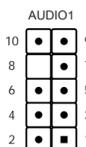
J6 Fan コネクタ

- 1=GND
- 2=+12V
- 3=FAN_TAC
- 4=FAN_CTL



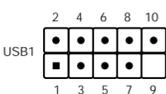
J7 オーディオ&USB用コネクタ

- 1=MIC_L
- 2=GND
- 3=MIC_R
- 4=FP_AUDIO-JD
- 5=HP_R
- 6=MIC-JD
- 7=SENSE_B
- 8=N/A
- 9=HP_L
- 10=HP-JD



J8 オーディオ&USB用コネクタ

- 1=+5VS
- 2=+5VS
- 3=USB2_D-
- 4=USB2_D-
- 5=USB2_D+
- 6=USB2_D+
- 7=GND
- 8=GND
- 9=N/A
- 10=GND



J9 2.5" SATAケーブルコネクタ

- 1=NC
- 2=NC
- 3=NC
- 4=NC
- 5=GND
- 6=GND
- 7=GND
- 8=+5V
- 9=+5V
- 10=+5V
- 11=+5V
- 12=GND
- 13=GND
- 14=GND
- 15=SATA_TX+
- 16=SATA_TX-
- 17=GND
- 18=SATA_RX-
- 19=SATA_RX+
- 20=GND
- 21=GND
- 22=GND
- 23=GND
- 24=GND
- 25=USB3_RX+
- 26=USB3_RX-
- 27=GND
- 28=GND
- 29=GND
- 30=GND



J10 オーディオ&USB用コネクタ

- 1=GND
- 2=GND
- 3=USB2_D+
- 4=USB2_D-
- 5=GND
- 6=GND
- 7=USB3_TX+
- 8=USB3_TX-
- 9=GND
- 10=GND
- 11=USB3_RX+
- 12=USB3_RX-
- 13=+5VS
- 14=+5VS
- 15=+5VS
- 16=+5VS
- 17=USB2_D+
- 18=USB2_D-
- 19=GND
- 20=GND
- 21=USB3_TX+
- 22=USB3_TX-
- 23=GND
- 24=GND
- 25=USB3_RX+
- 26=USB3_RX-
- 27=GND
- 28=GND
- 29=GND
- 30=GND



安全に関する情報

Shuttle XPC をセットアップする前に、次の注意事項をお読みください。

注意 バッテリーを間違えてセットすると、このコンピュータが損傷する原因となります。交換する際は、Shuttle が推奨するバッテリーと同じものまたは同等のものだけを使用するようにしてください。使用済USBコネクタみバッテリーは、メーカーの指示に従って処分してください。

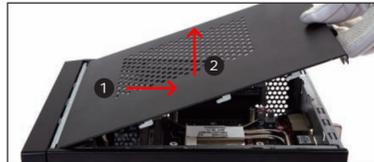
A. 取り付けの開始

▲ 安全のために、ケースを開ける前に電源コードを外していることを確認してください。

1. シャーシカバーの 2 本のネジを抜きます。



2. カバーを後ろと上方向にスライドさせます。



B. CPU/M.2カード&ICEモジュールの取り付け

1. ICEモジュールにあるネジを外します。

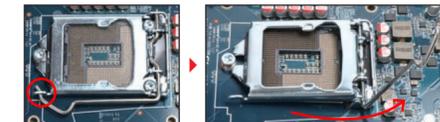


2. ICEモジュールを引き上げるように引き上げるようにして取り外します。

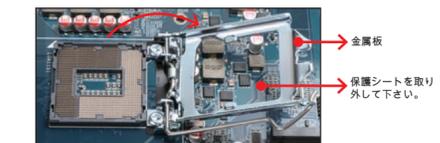
▲ 1151 ピンソケットは非常にデリケートな為、簡単に破損してしまいます。CPUを取り付ける際は、必ず細心の注意を払っていただけますようお願い致します。またCPU設置の際は、必ず電源をOFFにし、ケーブルが抜けている事を確認して下さい。

➢ マザーボードのCPUソケットにCPUを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

3. まずソケットレバーのロックを解除し引き上げます。

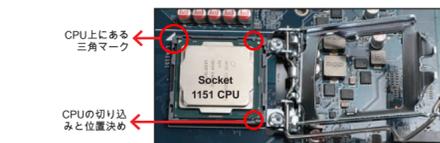


4. 保護シートをCPU固定プレートから取り外して下さい。CPUソケットの金属製ロードプレートを持ち上げます。



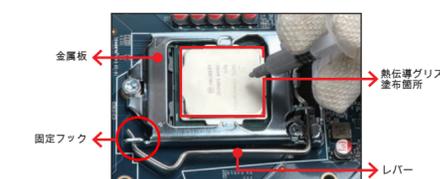
▲ ソケット内部には絶対触らないでください。CPUを設置しない場合は、保護のためにプラスチックカバーを取り付けるようにお願い致します。

5. CPUとソケットを合わせる際は、CPU側の切り込みがソケット側と合うように、取り付けの向きを確認してから、取り付けして下さい。



▲ CPUの設置には細心の注意をお願いします。力強く差し入れるとCPU及びソケットの損傷につながります。

6. 金属板を閉じ、レバーを下ろして固定します。



▲ 塗りすぎないように注意して下さい。

8. 図の示す通り。

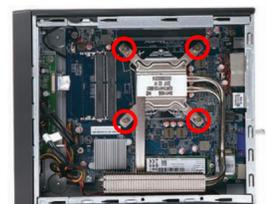


C. メモリーの取り付け

▲ このメインボードは1.2 VのDDR4 メモリーモジュールのみ対応しています。



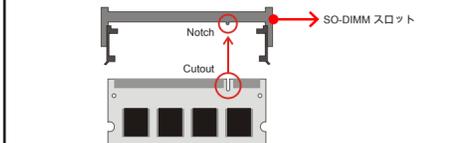
10. マザーボードへICEモジュールにあるネジを締めます。



D. 拡張カードの取り付け方

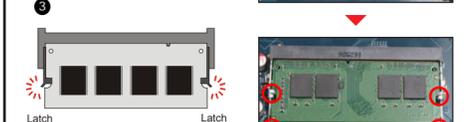
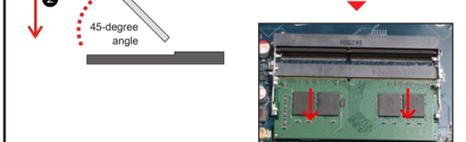
▲ 搭載可能なカードサイズは、208.5 mm x 120 mm x 30 mm までです。

1. SO-DIMM にメモリーを取り付けます。



2. 下の通り、切り欠けに合わせます。

3. メモリーを45°の角度から押し入れます。



5. 必要に応じて、追加のDDRモジュールを繰り返し取り付けます。

E. HDD/SSD 及びUSBデバイスの取り付け

▲ 接続できるUSBデバイスサイズは、11.5 mm x 28 mm x 88 mm までです。

1. シャーシカバーの 2 本のネジを緩めて取り外します。

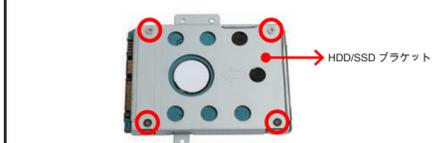


F. VESA マウントの取り付け

▲ 75x75mm および 100x100mm の VESA 規格に対応。

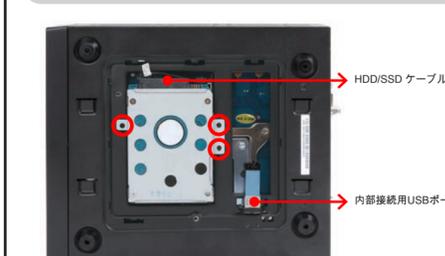


2. HDD/SSDをブラケットに取り付けネジを下図の通り締めます。



3. HDD/SSDをブラケットに3箇所のネジで固定し、接続ケーブルを繋げたら本体へ取り付けます。必要であれば、USBデバイスを取り付ける事もできます。

▲ 接続できるUSBデバイスサイズは、11.5 mm x 28 mm x 88 mm までです。



4. カバーを戻し、本体を裏返して元の状態に戻します。



5. カバーを元に戻し、ネジを再び取り付けます。



6. これで、完了です。

▲ Bios設定画面に入るには、電源ボタンを押して、Bios口ご画面が出た時に「Delete」キーを押して下さい。

G. PCI Express用ブラケット

▲ 75x75mm および 100x100mm の VESA 規格に対応。

